

第6学年 外国語活動指導案

対 象 6年4組 男17名, 女23名 計40名
 指導者 山口 律子 (HRT)
 John Matisi (ALT)

1 単元名 He is famous. She is great. (We Can! 2)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、5年生から週1時間(年間35時間)の外国語活動を通して、英語に慣れ親しんできている。

外国語活動における目標の3つの柱にかかわる事前アンケートを行ったところ、次のような結果となった。

質問事項	あてはまる	どちらかという とあてはまる	あまりあては まらない	あてはまらな い
外国語活動は好きですか。	58% (23人)	35% (14人)	7% (3人)	0% (0人)
英語のチャンツや歌を授業以外で口ずさむことがありますか。	28% (11人)	50% (20人)	15% (6人)	7% (3人)
ALTと英語で会話することは楽しいですか。	58% (23人)	37% (15人)	5% (2人)	0% (0人)
日本語と英語の違いについて、気が付いたことがありますか。	ある 80%(32人) ない 20%(8人) <ul style="list-style-type: none"> ・発音が違う。 ・メロンなどを言うときに日本と違って発音がよい。 ・「名字・名前」ではなく「名前・名字」の順番になっている。 ・日本語は、「あいうえお」と発音がみんな一緒だが、英語は一人一人違う発音だと思う。 ・言う順番が逆。英語…「ターンレフト」日本語…「左に曲がる」 ・日本語「私はアイスを食べます。」英語「私食べますアイスを」 			

これらの結果から、英語活動に意欲的に取り組んでいることが分かる。また、英語と日本語の違いに気付いている児童も多い。しかし、アンケートをとっている中で、「授業は好きなんだけど、英語がよく分からないな。」というつぶやきも聞かれた。活動としては楽しんで行っているものの、英語についての知識を得たいという気持ちの表れではないかと考えられる。

また、本教材にかかわることとして、6年生では今まで、Hi friends!2 Lesson3「I can swim.」で、できること、できないことを予想したり、インタビューしたりして慣れ親しみ、最後に「Who am I?」クイズを行っている。

(2) 教材について

本単元では、これまで音声で慣れ親しんだ文を取り上げ、児童がどのような語順になっているかに気付き、話したり書いたり(カードのあてはめや一部のなぞりも含む)できるようになることを目指す。そのために、これまでに音声で慣れ親しんでいる文を、単語が添えられている絵カードで可視化し、児童が語順に気付いたり、その気付きを生かして新たに文を作ったりする活動を設定していく。

また、本単元の最後では、人物紹介を通して主語+動詞+目的語を体験させながら、英語の語順について慣れ親しませていきたい。

このことは、中学校第1学年、PROGRAM 3 一般動詞(開隆堂)の学習につながっている。

(3) 指導について

まず、これまでに音声で慣れ親しんできた I play/want/like～. で表現された紹介文を聞いて、内容を理解させ、次に、その紹介文がどの文であるかを探すことを通して英文に慣れさせる。さらに、その紹介文をチャンツとして扱い、表現に慣れ親しませていく。また、これまでに慣れ親しんだ食べ物や、動物、身の回りのものなどの語句についてキーワードゲームなどを通して思い出させるとともに、ただ単に単語でゲームを行うのではなく I play/want/like～. の表現を使って行うことで、語順をより意識させたい。

次に、デジタル教材を視聴させ、内容を理解して、その内容に合うように誌面にカードを置く活動を通して、日本語と英語の語順の違いに気付かせていきたい。

最後には、本単元までに慣れ親しんできたことをもとに、Who am I?クイズを作らせ、楽しみながら積極的に活動に参加できるようにしていく。

3 単元の目標

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

語順を意識し、既習語句を使って伝えようとしている。

(2) 外国語への慣れ親しみ

視聴したり、可視化したり、自らクイズを作ったりすることで語順に慣れ親しむ。

(3) 言語や文化に関する気付き

「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付く。

4 指導と評価の計画

時	学習内容	主な評価基準
小5	What do you like?(Hi.friends1) 相手の好きな色や形を訪ねる。	・身近な事柄について、聞いたり話したりすることに慣れ親しむ。
小6	1 ・簡単な自己紹介を聞いてほしいの内容が分かる。 ・I play/want/like～. を用いて、好きなことやほしいものについて自分のことについて話す。	・自己紹介の内容を聞き取ろうとしている。(関・意・態) ・今まで慣れ親しんできた表現を、音声と文字とつなげて見ている。(慣れ親しみ)
	2 ・これまで慣れ親しんだ食べ物や、動物、身の回りのものなどの語を思い出させるとともに、好きなことや欲しいものなどを表す文には語順があることに気付く。	・今まで慣れ親しんできた語句や表現を、音声と文字とつなげて見ている。(慣れ親しみ) ・絵カードを並べる活動を通して、英語の語順に気付く。(気付き)
	3 ・まとまりのある話を聞いてほしいの内容を理解する。 ・人物クイズ作りに挑戦する。	・「主語+動詞+目的語」を意識して、例を参考に紹介文を書くことに慣れ親しんでいる。(慣れ親しみ)
	4 【本時】 ・語順を意識して作った紹介文をもとに、人物クイズを楽しんで行う。	・自作の紹介文をもとに、第三者について伝えようとしている。(関・意・態)
中1	PROGRAM 3 一般動詞	・一般動詞を用いた文の構造を理解している。

5 本時の指導

(1) 目標

語順を意識して作った紹介文をもとに、人物当てクイズを楽しんで行う。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	自分から友達に英語で声をかけ、人物当てクイズにおいて準備した内容を伝えようとしている。
外国語への慣れ親しみ	「主語＋動詞＋目的語」の語順を意識しながら、伝えたい内容を話すことに慣れる。

(3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 5分	1 挨拶 Hello. How are you?/I'm~ 2 前時の想起 チャンツ 3 課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Who am I? クイズ大会をしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体で挨拶したのち、隣同士でも挨拶をするよう促す。 ● 大きな声ではっきりと話すことを心がけさせる。 ● 前時に準備した人物当てクイズ大会を行うことを確認する。
展開 35分	4 課題解決の見通し (1) HRT からの Who am I? クイズを聞き答えを予想する。 “I have a bell. I can fly. I have a miracle pocket. I am a robot. I like <i>dorayaki</i> , I want a big <i>dorayaki</i> . Who am I? (2) クイズに正解, 不正解した時のやり取りについて練習する。 5 課題解決 (1) グループで出題の練習をする。 (2) Who am I? クイズ大会①をする。 4グループが出題し, 全体で答える。 (3) ALT からの Who am I? クイズを聞き, 答えを予想する。 “I like a crepe. I live in America. I play baseball in America. I am a pitcher and a batter. Who am I?”	<ul style="list-style-type: none"> ● ゆっくり発音し, しっかりと聞き取らせる。 ● Who am I?クイズのモデルとなるように, ALT とのやり取り場面をやって見せる。 ● HRT からの出題文をみんなで読み, 「主語＋動詞＋目的語」の文の語順について意識させる。 ● クイズのルールについて説明する。ALT が英語で説明をし, HRT がジェスチャーで表現する。 ● 正解や誤答の時に返答の仕方を確かめる。 ● クイズ大会では一対一で行うことを伝え, 自信をもって話すことができるように練習させたい。 ◎ 単語だけでなく「主語＋動詞＋目的語」の文で話そうとし, 慣れ親しんでいる。(観察) ● 一対一でのクイズのやり取りについてやり方を確認する。 ● 1文目で分かったら100点, 2文目なら80点, 3文目60点…とすることで意欲をもたせる。 ● たくさんの友だちとクイズをし, 多

	<p>(4) Who am I? クイズ大会②をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を見つけ1対1でクイズを出し合う。 	<p>くの点数を得るように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 紹介した文だけでは答えが分からないときは、さらにヒントをもらってもよいことを伝える。 ◎ 自分から相手を見つけ、自分の考えたクイズを出したり、相手のクイズに答えたりしようとしている。また、クイズのやり取りを楽しんでいる。(観察)
終末5分	<p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【振り返り 例】 他のグループのクイズを解くのが面白かった。もっといろいろな人物のクイズをつくってみたい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・交流をする。 ・HRT, ALT の評価を聞く。 <p>7 挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● クイズ大会をしてみて、気付いたこと、友達のよさなどについて、本時で思ったことを文にまとめさせ、実践の意欲へとつなげたい。

(4) 板書計画

2nd, November

Who am I? クイズ大会をしよう。

I want ____ ____.

1 あいさつ
2 チャンツ
3 課題
4 デモンストレーション
5 練習
6 クイズ大会①
7 クイズ大会②
8 ふり返り

I have a bell. I can fly.
I have a miracle pocket. I am a robot.
I like *dorayaki*, I want a big *dorayaki*.
Who am I?

I got it.
That right.
Close.
Nice try.
I did it.
I'm sorry.
Give me a hint.